

HADANO MEISUI ROTARY CLUB WEEKLY

例会場 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

事務所 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

例会日 毎週木曜日 12時30分～13時30分

会長 濑戸 誠 幹事 前 肇 会報委員長 鈴木和夫



人類に奉仕するロータリー

2016年～2017年度国際ロータリー会長
ジョン・ジャーム

第1518例会 2016年10月27日(木)(晴)

司会 柳川清紀副幹事

点鐘 濑戸誠会長

合唱 「手に手をつないで」(酒井健一さん)

唱和 「四つのテスト」(米山君夫さん)

ビジター紹介 相模原南児童ホーム所長 曽我幸央様

御結婚記念日 木村さん(10/27)、古谷さん(11/6)

お誕生記念日 <会員> 桐山さん(10/30)、
<奥様・ご主人様> 高橋令子さん(11/9)

会社創業記念日 今井さん(10/27)、古谷さん(11/1)
桐山さん(11/1)、諸星(利)さん(11/8)

会長の時間

○ 先日の地区大会には長時間のご協力ありがとうございました。

○ 今日は何の日、今日は“文字・活字文化の日”です。
読書週間の初日となります。

また、1904年の今日ニューヨークで初めて地下鉄が出来た日です。この時の日本は日露戦争の時で、日本の駆逐艦三笠など殆どが日本製ではなく、日本が工業力がない時にアメリカはすでに地下鉄を作っていたわけで、国力が大きい国と改めて感心しました。

○ 本日、児童養護施設の曾我様に講演をお願いしていますので、是非核心に迫った話しを伺いたいと思います。

○ また、福原さんの入会式も行います。本当に5年越しで本日入会して頂けることになりました。ありがとうございました。

○ ガバナー事務所より

1. 国際ロータリー第2780地区ロータークト
第28回地区年次大会のご案内
2. 卓話者データベース登録のお願い
3. 地区大会のお礼状
4. 米山学友会主催「国際交流会」のご案内
5. クラブ研修リーダーセミナー開催のご案内
6. 「職業奉仕月間」卓話者派遣について

以上詳細は配布資料及びMyロータリーを閲覧して下さい。

幹事報告

【受付文書】

①ロータリーよねやま記念奨学会より、ハイライトよねやま199が届きました。

②第7グループより、ガバナー補佐杯親睦ゴルフ大会の開催について(ご案内)

日 時：11月24日(木) 8時集合

場 所：伊勢原カントリークラブ

会員数	36名
出席数	28名
出席率	77.78%
前々回 の修正	-%

メークアップ	【事前】大屋さん(10/18 秦野)
--------	-----------------------

本日の プログラム	10月27日 ○児童養護施設理事
--------------	---------------------

次週の プログラム	11月3日 ○市民の日秦野3クラブ 合同麻薬撲滅キャンペー ーン
--------------	---

参加費：3,000円

③国際ロータリー日本事務局経理室より、11月ロータリーレートのお知らせ **1ドル=102円**

④秦野市教育委員会より、第7回親子川柳大会表彰式の開催について（ご案内）

日 時：11月19日（土）10時半～11時半
(集合：10時20分)

会 場：教育庁舎三階会議室

【例会変更】

[平塚南] 10月28日(金) →夜間例会 18:00 点鐘

[寒川] 11月 7日(金) →移動例会「6RC 親睦ゴルフ大会」

於：小田急藤沢GC

11月21日(月) →20日(日)「寒川長産業まつり」「ポリオ撲滅キャンペーン」に振替

9:00 点鐘

於：さむかわ中央公園

[秦野] 11月1日(火) →11月3日(木) 市民の日
キャンペーンに振替

9:30～

[秦野中] 11月4日(金) →11月3日(木) 市民の日
キャンペーンに振替

11:00～

11月18日(金) →夜間例会 19:00 点鐘
於：秦野商工会議所4F

[伊勢原平成] 11月1日(火) →夜間例会 18:30 点鐘
於：伊勢原シティプラザ4F

[伊勢原] 11月16日(水) →11月14日～19日
(火) 爐辺会合

於：割烹 鳥好

18:00～21:00

[茅ヶ崎] 11月3日(木) →祝日休会

【本日の配布物】ロータリーの友11月号

スマイル報告

○瀬戸誠さん「本日は福原さんの入会式です。御入会ありがとうございます。本日講演頂ける曾我様よろしくお願ひします。

○前肇さん「スマイルします。」

○原郁夫さん「鈴木さん、先日は色々ありがとうございました。」

○諸星道治さん「久々の例会にスマイルします。」

○柳川清紀さん「福原さん、ご入会おめでとうございま

す。」

○米山君夫さん「会社創業記念頂きありがとうございます。」

○山口光弘さん「米山記念奨学委員会より(山口・山本)、本日より米山奨学寄付金を集金させて頂きたいと存じます。皆様のご協力をよろしくお願ひします。」

○木村眞澄さん「加藤さん、大変お世話になりました。ありがとうございました。結婚記念日ありがとうございます。」

○北村俊和さん「スマイルします。結婚記念ありがとうございます。」

○関隆明さん「福原さんの入会にスマイルします。」

○神崎達朗さん「スマイルします。」

○桐山晃忠さん「誕生日そして創業記念日のお祝いありがとうございました。79歳東の間の舞台である様な気がします。」

○原恵美子さん「遅くなって申し訳ありません。長野より今着きました。」

○小澤賢さん「スマイルします。」

○山谷洋子さん「曾我所長、本日はお忙しい中ありがとうございます。養護施設の内容については私自身あまり理解しておりません。卓話が楽しみです。」

○鈴木和夫さん「久しぶりに例会に参加できました。スマイルします。」

○諸星利男さん「創立記念お祝いありがとうございます。新たな気持ちで地域高齢者福祉に努めます。」

○高橋幸雄さん「結婚祝い・創業記念ありがとうございます。福原さんようこそ名水RCへ。先月のラテン・ジャズのコンサート楽しい時間でした。」

○仲野亜津子さん「季節はずれの暑さで体調崩さないよう気をつけましょう」

○吉田久美子さん「とても気持ちの良い日ですね。スマイルします。」

○古谷スミ子さん「会社創業記念日&結婚記念日ありがとうございます。健康でこの日を迎えた事に感謝です。卓話の途中ですが、本日早退致します。」

合計 91,000円

委員会及びその他の報告

○親睦委員会 北村(俊)委員長

[歓送迎会開催]

日 時：10月31日(月) 18:30～

場 所：やなぎ家本店

会 費：5000円

主 旨：①新入会員 原恵美子さん歓迎

②事務局交代

○ 社会奉仕委員会 小澤委員長

[秦野3クラブ 合同麻薬撲滅エンドポリオ撲滅キャンペーン]

日 時：11月3日(木) 市民の日

場 所：秦野市文化会館駐車場

集 合：12:00

終了予定：15:00

新会員入会式

○ 会員増強・会員維持委員会 仲野委員長

*福原美千加さん ←瀬戸会長より紹介



<福原美千加さん>

福原美千加と申します。大学が相模原市であったことから、卒業後そのまま神奈川県で仕事をするようになりました。

秦野には特に所縁は無かったのですが、街の景観と何となく触れた人のやさしさに惹かれ秦野で開業することになり、地元の方々に支えられ1年1年過ごしてきた結果23年が経ちました。

この会に入会しましたのは、自分だけではなかなか街に恩返しができないということを切に思い皆様と共に秦野市にまた神奈川県にまた日本にまた世界に自分が生かされたことに対してお礼ができたらなと思っています。自分の持てる力は小さいですが、皆様と力を合わせそれが達成できたらいいなと思っています。今後ともご指導よろしくお願い致します。

<会長より>

福原さんには5年越しで入会して頂きました。とても優秀な経営者です。また若い女性経営者の中では屈指の経営者だと思っております。今後、一緒にRCを盛り上げていきましょう。

卓 話

相模原南児童ホーム所長 曽我幸央様



下記の通り要点のみ纏めました。

1. 相模原南児童ホームの紹介

乳児院と児童養護施設の二つの合致施設であります。児童福祉法に基づいた施設であり、昔の孤児院として始まったことがきっかけとなっています。現在は親のいない子供はいなくて、むしろ両親が揃っている家庭の子が一番多い状況であります。

いわゆる、虐待で入ってくる子供が後を絶ちません。乳児院は全国で300か所あり新生児から2歳まで、児童養護施設は2歳から18歳まで高校を卒業するまで公費で面倒を見ていきます。

この施設はできて3年ですが、すでに満床となっています。

2. 概要

相模原南児童ホームは定員45名に対し現在45名の入所でそのうち94%が親からの虐待で入ってきてています。

自分が本当に生まれてきて良かったのかという自己

肯定感が持てない子供が非常に多いです。親から愛されて来なければならない子供たちがその愛着関係ができない状況で、しかも一番信頼されなければならない親からの虐待ですから心に傷をもつて施設にやって來るのが現状です。

また乳児院は22名で現在満床の状態です。赤ちゃんてどのような状況で入ってくるのかということで、第一号の赤ちゃんは新生児でした。いわゆる父親がいなくて育てられないといふことでした。この子のお母さんは親として心に変化も出てきて半年後には子供を引き取って自分で育てる事になります。今でも近況を連絡してくれます。

ですが、すべてがこのようなケースばかりではありません。障害があるからと親が育児放棄してしまう、16歳17歳で子供を産んで育児ができないのではと心配し、施設に泊まり込んで育児を体験し親元に返したという事例もあります。

兎に角、子供の数は減っていると言ひながらも入所が後を絶たないという状況が今の日本の社会問題だと思っております。

虐待を受けてきた子供の心の傷は計り知れなくて、自己肯定感が低いということは自分自身を大切にすることが出来ないわけで、そういう子供たちがまず職員と信頼関係を構築して、次に学校や社会という形で18歳までにやっていかなければならぬという現状が施設ではあります。また自信のない子供たちを職員がいかに支援していくかというところで一から子供たちの目指すところに寄り添いながら関わっていくということも行っています。

こういった中で、子供たちに如何に職員が向き合つてやっていくか日々悩みながら関わっており、そしてみんなが安心して安全に生活できる施設を目指して頑張っているところであります。子供たちが夢をもつて社会に出ていける、そういう支援を私たちはこれからも続けていきたいと思っています。

